

令和6年8月9日（金）
（公財）広島市文化財団 アステールプラザ
ひろしまオペラ・音楽推進委員会事務局
粟河（あわかわ）電話：244-8000 内線：5976
aster_04@cf.city.hiroshima.jp
E-mail:naka-cs@cf.city.hiroshima.jp

令和5年度ひろしまオペラルネッサンス公演 『フィガロの結婚』 第22回佐川吉男音楽賞「奨励賞」を受賞

令和5年（2023年）8月に上演したひろしまオペラルネッサンス公演『フィガロの結婚』が、「第22回佐川吉男音楽賞 奨励賞」を受賞しました。

ひろしまオペラ・音楽推進委員会主催オペラとしては、令和2年（2020年）2月上演の細川俊夫作曲オペラ「松風」で同賞を受賞して以来の受賞です。

【主催】ひろしまオペラ・音楽推進委員会ほか

【演目】ひろしまオペラルネッサンス「アンサンブルシアターⅡ」

モーツァルト作曲 オペラ「フィガロの結婚」

（2023年8月26日・27日 JMS アステールプラザ大ホール）

【奨励賞 贈賞理由】

全国オーディションで選ばれたキャストが柴田真郁指揮のもと、モーツァルトのオペラに欠かせない精確なアンサンブルで歌唱して、「アンサンブルシアター」の名にふさわしい上演が実現した。歌手は地元広島をはじめ海外からの留学生や関西、名古屋、東京圏などからの参加も多く、多様な個性に富んで発展性がある。芸術監督岩田達宗の演出は、戦争の続く今の世界情勢への思いから、作品に内在する「対立」や「争い」、そして「許し」の心を表現。若手が多いだけに演技力の未熟さやアリア歌唱の深みなどには今後の習熟が望まれるが、全体がフレッシュな気概に包まれてオペラの楽しさを伝えることができたのは収穫だった。

ひろしまオペラルネッサンス事業は30年以上に亘って継続的に取り組まれ、同地のオペラ活動を向上させたのみならず、近隣の都市にも影響を与え、全国各地の地域オペラからも先進的な取り組みとして常に注目されてきた。その実績は誠に誇るべきもので、国際平和文化都市広島は「オペラのまち」として定着している。その貴重な文化が今後一層推進され、発展していくことを期待したい。

詳細は以下のとおり

[公益財団法人 広島市文化財団 アステールプラザ \(h-culture.jp\)](http://h-culture.jp)

[トップページ | 公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団 \(mutfa.jp\)](http://mutfa.jp)

【芸術監督・演出 岩田達宗氏の受賞コメント】

「フィガロの結婚」が佐川吉男賞奨励賞を受賞しました。

人類共通の大切な記憶を受け継ぎ、語り続けなければならない場所が広島。そして 3000 年の長きにわたって人類全体で受け継がれ、大切な物語を語り続けてきたオペラ。だからこそ広島でオペラを上演することに強い意義を感じてひろしまオペラルネッサンスは 30 年の長い間、広島だけではなく全国の音楽家に門戸を開いて活動を続けてきました。



この度は「フィガロの結婚」とは平和の祈りの作品である、とのご理解を賜っての受賞であることに大きな喜びを感じます。

「フィガロの結婚」の内容には殺人も殺し合いもなく、深刻な重々しい内容でもありません。しかし、暴力や戦争の原因となる「対立」を業のように背負った人間の在り方を根本的に問うた作品です。人間が対立を乗り越えて、平和と幸福を手に入れることができるか、それを初演以来 250 年の長きにわたって問い続けているのが、このオペラです。

我々の住んでいる世界。それは対立と争いの世界。戦争のなくなる世界です。被害者は加害者を許さない。加害者に罰を与え、報復しなければそれは愚か者だ。生き残るためには加害者である対立する敵をやっつけなければならない。そんな世界です。

しかし嫉妬と憎悪から生まれた対立によって粉々に砕かれた世界に、伯爵夫人はひとりで立ち向かいます。そして愛と、許しと、肯定の言葉によって世界を対立と分断から救います。

そしてそんな世界を糾弾するアリアをマルチェリーナとバジリオが歌います。マルチェリーナは言う。羊でも山羊でもどんなケモノでも戦争なんかしない。なぜ人間だけが？バジリオは言う。賢者とは復讐と正義のために街を焼き尽くし死と破壊をもたらすなら、自分は愚か者だと罵られても平和に生きる、と。

伯爵夫人、そしてマルチェリーナとバジリオこそがこのオペラのメインテーマであり、最重要のメッセージです。それが伝わったならこの上ない喜びです。

そしてひろしまオペラルネッサンスは全国から音楽家が集まって創られる舞台です。広島の地に人々が集まって、そして地元広島の音楽家たちと全国の音楽家が共に成長して、他のどの場所にもない豊かな創造の場をつくりあげています。この豊かな環境をつくったことにも評価を頂いたことに更なる喜びと榮譽を感じます。

世界が危機を迎えるいま。広島からの平和への祈りを今後とも皆様に発信していけるように努めます。より一層の志ある音楽家が広島の地に集まってもらえるように努めます。

ひろしまオペラルネッサンスにどうぞ今後ともご支援を賜りますようお願い致します。

芸術監督・演出 岩田達宗

ひろしまオペラネッサンス
アンサンブルシアター //



嫉妬 憎悪 そして絶望
その果てに蘇るものとは？

演出 岩田達宗
音楽監督 柴田真郁
指揮 柴田真郁
合唱団 広島交響楽団
ひろしまオペラネッサンス合唱団

オペラ
フィガロの結婚

全4幕/イタリア語上演/日本語字幕付き

原作：C.F.・ボーマルシェ 台本：L.ダ・ボンテ 作曲：W.A.モーツァルト

2023 8/26(土) 14:00開演 (13:00開場) 8/27(日) 14:00開演 (13:00開場)

JMSアステールプラザ大ホール

SS席：8,000円 | S席：6,500円 | A席：5,000円 | B席：3,500円 | 学生券：2,000円

※観客席のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。※公演中止の場合を除き、チケットの変更及び払い戻しはいたしません。【全席指定】

主催/ひろしまオペラ 音楽推進委員会、広島市、広島県立広島文化芸術アステールプラザ、中国新聞社、広島市立広島文化芸術アステールプラザ、広島市立広島文化芸術アステールプラザ、広島市立広島文化芸術アステールプラザ

協賛/広島市教育委員会、NPO広島芸術活用、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FM89.7 広島FM

< アンサンブルシアターシリーズの紹介 >

Astérel plaza ensemble theater

ひろしまオペラネッサンス公演では、「モーツァルトオペラシリーズ (2017-2019)」に続いて、2021年度からは芸術監督に岩田達宗氏を迎え、これまで培ってきたアンサンブルの魅力をもっと高め皆様にお届けする「アステールプラザアンサンブルシアター」を新たなシリーズとして取り組んでいます。

重なり合う複数の声が高めるアンサンブルは、共に力を合わせ平和な世界を目指す象徴にふさわしく、素晴らしいアンサンブルオペラによってヒロシマから世界恒久平和を発信します。

< あらすじ > synopsis

才気煥発のフィガロと悪人のスズンナの結婚の日。しかし、そこへなんと、フィガロの主人である伯爵がスズンナに横恋慕して二人の間に割り込んで来た！ お調子者の小蛇ケルビーノ、借金のかたにフィガロに言い寄る侍女マルチエリーナ、ずるがしこい音楽教師バジリオ、フィガロに恨みを抱く医者バルトロ、そんな一癖も二癖もある誰かを巻き込んで結婚式の日には狂乱の日へと変貌する。そして、伯爵を心から愛する伯爵夫人が夫の愛を取り戻すため、そして全ての人々の和解のために遂に立ち上がる。彼女の企んだ一世一代の大芝居とは？

< オペラ「フィガロの結婚」の紹介 >

Le nozze di Figaro

オペラ『フィガロの結婚』は、モーツァルト作品の中でも最も広く愛されている作品で、軽快な序曲に始まり、「恋とはどんなものかしら」「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」などのアリア、フィナーレを飾る狂喜のアンサンブルと聴きどころが満載です。

今回の公演では、円熟味を増す演出家 岩田達宗を芸術監督に迎え、次代のオペラ界を牽引する指揮者 柴田真郁、全国オーディションで選抜されたキャスト陣がじっくり磨り上げたアンサンブルと見応えのある舞台をお届けします。時代を超えてもなお、色褪せることのない不朽の名作『フィガロの結婚』を、どうぞお見逃しなく。



Cast

| | | | | | | | | |
|-------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|-----------------------|--------------|---------------|
| 指揮者 岩田達宗 | 伯爵 五島真澄 | 伯爵夫人 榎 貴志 | スズンナ 原田幸子 | バジリオ 小玉友里花 | ケルビーノ 田坂蘭子 | マルチエリーナ 月村尚華 | バルトロ 芳賀健一 | 伯爵夫人 山岸玲音 |
| 指揮者 柴田真郁 | ケルビーノ 平岩 園 | ケルビーノ 須藤歩希 | スズンナ 大城 薫 | バジリオ 林 真咲 | バジリオ 森本 誠 | バジリオ MINAKAWA SAKI | バジリオ 升島唯博 | バジリオ 孫 勇太 |
| 指揮者 柴田真郁 | 伯爵夫人 中東 綾 | 伯爵夫人 藤田真帆 | 伯爵夫人 近藤麻帆 | 伯爵夫人 木谷圭嗣 | 伯爵夫人 久保里咲子 | 伯爵夫人 中川千穂 | 伯爵夫人 川手 響 | 伯爵夫人 村のまゆみ |

Staff

演出陣：マエストロ/ソステトゥート 平野 貴 | 美術デザイン 松生 敦子 | 衣装デザイン 岩田史子 | 髪型デザイン 大島 純次 | 舞台監督 岩田達宗
 演出助手 上原真希 | 合唱指導 寺沢 貴 | 翻訳ピアノ 枝川 康子、谷藤 聡子、山田 千夏 | 合唱ピアノ 枝川 康子、谷藤 聡子
 合唱指揮 岩田達宗

Under Study
アンダースタディ

伯爵夫人 南 礼盛
伯爵夫人 藤田 唯珠
スズンナ 久保里咲子
バジリオ 大迫 潤

チケット料金 現金・クレジットカード

SS席 8,000円, S席 6,500円, A席 5,000円, B席 3,500円, 学生券 2,000円

※観客席のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。
※公演中止の場合を除き、チケットの変更及び払い戻しはいたしません。

チケット販売所

エディオン広島本店 / 082-247-5111 | 電子チケットぴあ / Pコード: 241-680
 中国新聞社読者広報部 / 082-236-2455 | ローションチケット / Lコード: 63832
 JMSアステールプラザ | オンライン販売 / http://h-culture.jp/opera/ticket/
 情報交流ラウンジ / 082-244-8000

お問合せ

ひろしまオペラ・音楽推進委員会 TEL: 082-244-8000
 〒730-0812 広島市中区加古町4-17 JMSアステールプラザ内
 http://h-culture.jp/opera/renaissance/ | naka-ca@cf.city.hiroshima.jp

座席表

一日イベント
オペラ・トークのご案内

日時：2023年8月9日(水)19時開演 (18時30分開場) 会場：JMSアステールプラザオーケストラ等練習場
 題目：オペラ『フィガロの結婚』の見どころ、聴きどころ
 プレゼンター：岩田達宗 (芸術監督・演出)、柴田真郁 (指揮)、平野 貴 (指揮、マエストロ・ソステトゥート)
 申し込み方法：電話、Eメール、JMSアステールプラザ窓口などで、「お名前」をお知らせください。
 ※満員の場合は入場をお断りする場合があります。変更情報は発行いたします。